なぜ今ジビエ振興なのか？

被害防止のために捕獲を進めるだけでなく、捕獲鳥獣を地域資源（ジビエ等）として利用し、農山村の所得に変えるような、有害鳥獣を「マイナス」の存在から「プラス」の存在に変える取組を全国に広げていくことが重要。

マイナス面

- ◆ 野生鳥獣による農作物被害の増大
- ◆ 営農意欲の減退
- ◆ 耕作放棄地の拡大
- ◆ **農山村地域の衰退**

- ◆ 有害鳥獣の捕獲
- ◆ **捕獲鳥獣の埋却・焼却処理が負担**

ジビエ振興

これまで廃棄していた捕獲鳥獣のジビエ利用拡大を推進

プラス面

- ◆ 積極的な捕獲の推進
- ◆ **農作物被害の低減が期待**

- ◆ 様々な分野でジビエ利用
  - □ 農泊・観光
  - □ 外食・小売
  - □ 学校給食
  - □ ペットフード　など
- ◆ **農山村地域の所得向上が期待**

5

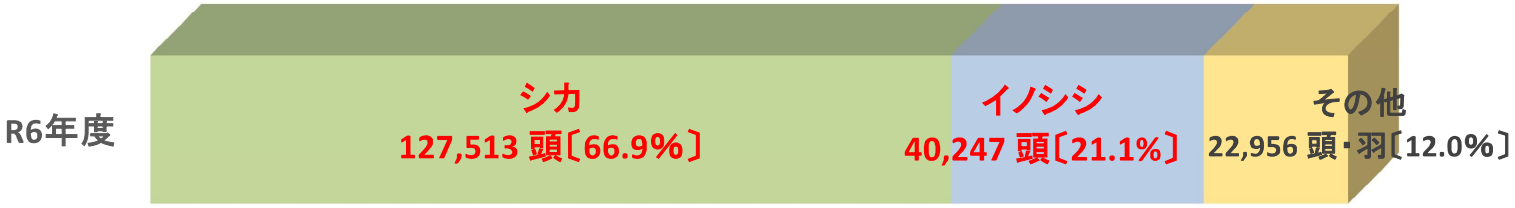
捕獲された有害鳥獣のジビエ利用について

捕獲されたシカ・イノシシのうち
ジビエとして食肉加工・流通された割合　**約１割**

（※ハンターによる自家消費を除く）

食肉処理施設における シカ・イノシシの処理頭数	約17万頭	出典：野生鳥獣資源利用実態調査
シカ・イノシシの捕獲頭数	約138万頭	出典：捕獲頭数（速報値）環境省（令和6年度）

合計190,716 頭・羽（対前年度8,089頭・羽増）



出典：野生鳥獣資源利用実態調査

目標：ジビエ利用量の増加

10